



六甲砂防事務所

森の世話人活動支援事務局からのお知らせ

六甲山系グリーンベルト整備事業功労者表彰

森の世話人 7 団体が功労者表彰されました！

阪神・淡路大震災後、住宅地に面した六甲山の斜面がたくさんの箇所で崩壊し、土砂災害の危険性が高まりました。これを受けて、国と兵庫県は、施設の整備や市民の皆様との協働による森づくりなどを通して、地域の安全性と美しい景観を取り戻すことなどを目的とする「六甲山系グリーンベルト整備事業」を邁進してきました。平成 27 年 6 月 28 日開催「六甲山サミット」において、これまでの森づくりで、特に活発に活動頂いた団体の皆様に感謝の意を表し、今後の益々の活躍を期待して、感謝状を贈呈しました。(以下、登録日順)

- ・いたやにすと
- ・六甲ジョウビタキの会
- ・パナソニック電気阪神地区松寿会フォレスター松寿会
- ・ほくらぐるーぷ（山林ボランティア）
- ・ブナを植える会
- ・兵庫県山岳連盟
- ・コベルコシステム株式会社



ひとと、みどりも元気！



開会前の歓談



感謝状贈呈式



六甲砂防事務所 石塚所長より表彰団体へ



功労者表彰 7 団体の代表の皆様

喜びの声

ありがとうございます。今までの地道な活動が評価されました。これを励みに、地域の安全性と美しい景観づくりをこれからも続けて行きます。

知りませんでした・・・六甲山系グリーンベルト整備事業のこと

「六甲山サミット」では、兵庫県立大学名誉教授 兵庫県立 人と自然の博物館 中瀬勲館長と若者4名とによる「座談会：若者と語る！ 阪神・淡路大震災 六甲山の森づくり」を行いました。「六甲山系グリーンベルトのことは、今回初めて知りました・・・」という残念な発言があった中、これからの森づくりに対して、頼もしい意見・提案がありました！



座談会前の和やかな雰囲気



座談会の様子

若者からの意見・提案

・今の若者は山との接し方を知りません。目標とすべき山の姿を共有することから始めることが大事です。

・六甲山山麓 1万人の学生の若さと頭脳を持ち寄って、授業を兼ねた森づくりのイベントをする。留学生も多いので、国を越えて山と触れ合いながら、世界と繋がれば良い。

・SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）のFacebook、LINE、Twitterなどを利用し多くの学生に知ってもらい、参加してもらおう。必要な情報を必要な人に届ける。

・この事業自体を知ってもらう必要がある。そのためには、幼児・小学生の頃から記憶に残る体験・経験の場を持てれば良い。

若者たちの意見・提案を実行するには、手始めとして「森づくり体験」が重要です。経験豊かな森づくり団体の諸先輩方々のご協力をお願いいたします。

行政関係者にも PR

6月29日、森の世話人活動支援事務局（赤井）が「平成27年度 近畿地方整備局研究発表会」において、「六甲砂防と樹林整備を進める市民・企業の6年の歩みとこれから」のタイトルで皆様の活動やその効果等を発表しました。



「森の世話人」の登録状況

平成27年7月現在、登録団体は46団体です。3月にネスレ日本株式会社が辞退されましたが、一部の有志の方々が「ウェルネスの森を守る会」として引き継がれました。